

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	大腿骨牽引手術の麻酔に際して脊髄くも膜下麻酔に大腿神経ブロックを併用する方法についての後ろ向き検討
研究期間	2022年6月2日～2024年3月31日
対象患者	2017年4月から2021年3月までの期間に当院で大腿骨近位部骨折に対して牽引手術を受けた75歳以上の患者さん
研究機関の名称	島根県立中央病院
当院研究責任者	手術科 小笹 浩
意義・目的	大腿骨近位部骨折は高齢者に好発する骨折であり、手術時に脊髄くも膜下麻酔による血圧低下が問題となります。局所麻酔薬用量を低減した脊髄くも膜下麻酔に大腿神経ブロックを併用することで、目的の除痛を得るとともに血圧低下を防ぐことができる可能性があり、その検証を行います。
研究内容	電子カルテおよび後利用システムを利用して、下記に示す項目を抽出します。抽出データを基に、脊髄くも膜下麻酔単独群と大腿神経ブロック併用群の2群に分け、以下の因子の関連性について統計処理により検討します。 因子：RRS（院内迅速対応システム）起動の有無、最低収縮期血圧、輸液量
利用・提供する試料・情報の項目	患者背景（識別コード、手術時年齢、性別、身長、体重、出血量、合併症）、脊髄くも膜下麻酔の薬剤量、輸液量、尿量、循環動態指標（退室時血圧、最低収縮期血圧等）、区域麻酔から気道確保を伴う全身麻酔へ切り替えた頻度、手術日あるいは翌日のRRS（院内迅速対応システム）起動の有無 等
試料・情報の他機関への提供有無	<input type="checkbox"/> あり 提供方法： 海外の機関への提供 <input type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> なし
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	麻酔科関連の専門学術誌、学会等で公表予定です。
備考	

***** お問い合わせ先 *****

島根県立中央病院

研究責任者：手術科 小笹 浩

電話：0853-22-5111

事務局：臨床研究・治験管理室

電話：0853-30-6590（直通）
